

【樹木の部屋】

ツタ（ブドウ科ツタ属 Parthenocissus tricuspidata）

和名：ツタ（蔦）

別名：ナツツタ（夏蔦）、アマズラ（甘葛）、モミジツタ（紅葉蔦）、
ツタモミジ（蔦紅葉）、ニシキツタ（錦蔦）

英名： Japanese Ivy、Boston Ivy

ブドウ目 つる性落葉木本

原産地：日本

花言葉：永遠の愛、結婚 **花の色**：緑



← 写真-1 ツタ

撮影日：2016年05月12日
撮影場所：アイビースクエア
（倉敷市）にて
撮影者：M さん

↓ 写真-2 ツタの葉

撮影日：2016年05月12日
撮影場所：アイビースクエア
（倉敷市）にて
撮影者：M さん

「ツタ」は、“伝う”に由来しているそうです。「ナツツタ」の名は、常緑の「フユツタ」との対比から。

吸盤がある巻きヒゲと、樹皮から出す気根とで他の樹木や家屋の壁面などに吸着し、上へ上へと成長します。幼木では3つの小葉からなる3出複葉ですが、成長すると単葉になります。葉はやや光沢があり、3裂し、まばらな鋸歯があり、長い柄があり、秋には紅葉して落葉します。

6～7月頃、短枝の先に複集散花序を作り、淡い黄緑色の花を咲かせ、果実は球形の液果で、10月頃



藍黒色に熟します。

<ちょっと一言>

*アイヴィと呼ばれる種は、ウコギ科キヅタ属の植物を指す事が多い。

*キヅタ（木蔦、学名：Hedera rhombea）常緑つる性木本。

別名フユヅタ（冬蔦）

*甘葛（アマズラ）：早春につるを切って樹液を集め 煮詰めて甘味料を作ったそうです。